

# 第4学年 総合的な学習の時間学習指導案

2016年10月12日(水)  
場所 4年B組教室  
児童数 21名

## 1. 単元名「仁淀川の魅力を発信しよう」

### 2. 単元設定の理由

越知町を流れる仁淀川は、国土交通省の水質調査で平成24年～27年の4年連続日本一で、そのきれいな川の様子から「仁淀ブルー」と呼ばれている。越知町では、生活用水もこの仁淀川の水が利用されており、児童たちには最も身近な川であるといえる。児童たちは、3学年の総合的な学習の時間において「越知のお宝発見！」に取り組み、仁淀川が越知町の自慢だという意識を持っている。しかし、仁淀川にふれ合うことが少なく、遊んだことがない・詳しく知らないなどその良さに気付いていない面も見られる。

本単元ではまず、仁淀川で遊んだり、支流の梅ノ木川が現在の様子になるまでの経緯を知り、清掃をしたり、水質調査をしたりする体験活動を通して、仁淀川について感じたことをもとに、自分たちで課題を見つけるようにする。次に、自分が興味をもったことについて情報を収集し、調べたことをグループごとにまとめ、地域のイベントであるコスモス祭りで、来場者に紹介する活動を行う。その際、仁淀川についてどのくらい関心があり、知っているのかなどを調べるアンケートを実施する。また、アンケートについては、同じ内容で事前に地域や保護者にも実施する。それらのアンケート結果をもとに、児童がさらに情報収集や新たな学習課題の発見ができるようにしていきたい。課題について調べる中で、仁淀川の豊かさや、その恵みに気付かせたい。そして、学習発表会で発表したり、仁淀川を守るために自分たちにできることについて考え、仁淀川の環境保全のために行動したりする活動へとつなげていきたい。

本校の研究主題「主体的・協働的な学びを通して、練り合いが深まる授業指導の実践」を受け、総合的な学習の時間の授業においても問題解決的な学習を行い、ペア学習やグループ学習といった話し合い活動を中心に、学習リーダーが授業を進めている。また、総合的な学習の時間においても単元を探究の学習過程にそって構成し、児童自らが課題を設定し、情報を収集・整理・分析し、まとめ・発表するようにした。特に、目的に合わせて情報を整理・分析する力や、相手に合わせて伝える力を高めていきたいと考えている。

指導にあたっては、発表の場をコスモス祭りと学習発表会の2回設定し、児童がより主体的に活動できるようにする。その際、1回目よりも2回目の方がより深い内容を伝えることができるようにさせたい。そのために、情報収集の際には、身近な図書館資料やインターネット、パンフレット、地域の人材を活用して詳しく話を聞くなどの手段の中から、よりよい情報収集の仕方を選択することや、集めた情報の中から必要な情報を選ぶことについても情報カードなどを活用して学ぶ手立てを講じていきたい。

本時は、まず、アンケート結果の予想をさせる。次に、アンケート結果から分かることや気づき、体験したことももとにして考えを出し合い、分析する。さらに、グループごとにこれから調べたいことについて話し合い、全体で発表する。それぞれのグループの今後の課題を出し合うことで、これからどんなことを調べたらよいか、どのように調べたらいいのかが自分の考えが持てるようにし、次時の活動へとつなげるようにしていきたい。

### 3. 単元の目標

- 郷土を流れる仁淀川について、体験や調査活動を通して、川と生物・川と自分たちの暮らしのかかわりや魅力について自分なりの考えを持ち、それを情報発信したり、自分たちができることについて考え、実践したりする。

### 4. 評価規準

本単元で育てたい力	評価規準
-----------	------

主体的に考え、行動する力	<p>ア) 仁淀川の水質や生息する動植物等について調べてみたいことを見つける。</p> <p>イ) 調べるためにどのような方法があるかを考えたり、積極的に情報の収集・分析や表現活動をしたりする。</p> <p>ウ) 調べたことや分かったことを、これからの生活に生かしていこうとする。</p>
表現力・思考力・判断力	<p>ア) 関係付けて考えたり環境や変化について考えたりする。</p> <p>イ) 相手や目的に応じ、表やグラフも用いて適切に表現する。また、中心や組み立てを考えるなどして発表する。</p> <p>ウ) 図書館資料やインターネットなどから資料を集める。詳しく調査し、活用できる情報（図表や文章等）を見つけ出す。</p>
かかわる力	<p>ア) 自分の考えを整理し、筋道立て分かりやすく話し、自分の考えと比べながら話の中心に気をつけて聞く。</p> <p>イ) 自分の役割を理解し、協力したり、助け合ったりする。</p>

5. 単元の主な流れ（55時間）

主体的に考え、行動する力→**主** 表現力・思考力・判断力→**能** かかわる力→**か**

	学習過程	活動内容（時間）	指導の工夫	評価規準
仁淀川について知ろう！（15時間）	課題設定	○越知の良さについて話し合う（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通して、仁淀川を取り巻く環境について興味を持つようにさせる。</li> <li>・梅ノ木川で活動している人の話を聞き、仁淀川を美しく保つために活動している人々の努力を知るようにする。</li> <li>・仁淀川に関するパンフレット等を収集させる。</li> </ul>	<p><b>主</b>ア) 《発言》</p> <p><b>能</b>イ) 《発言・ワークシート》</p> <p><b>主</b>ア) 《発言》</p>
	情報収集	○仁淀川で遊ぶ（5） ・遊びの計画を立て、遊びのチームに分かれて話し合う。 ・川で遊び、活動をふり返る。		
	整理分析	○仁淀川について知る（8） ・梅ノ木川の清掃活動について知る。 ・梅ノ木川清掃や水質検査を行う。 ・梅ノ木川清掃活動についてふり返る。		
	まとめ・表現	○仁淀川の何を調べたいのか話し合う（1） ・体験したことをもとに、これからの活動のテーマを決める。		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">コスモス祭り で仁淀川について 紹介しよう (25時間)</p>	<p>課題設定 情報収集</p> <p>整理・分析 まとめ・表現</p> <p>情報収集</p>	<p>○紹介する内容について話し合う。 (1)</p> <p>○仁淀川について調べる① (6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川の動植物について調べる。</li> <li>・生き物について話を聞く。</li> <li>・仁淀川の水質を調べ、話を聞く。</li> <li>・調べたことをまとめる</li> </ul> <p>○祭りに向けて計画を立て準備する。(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような方法で紹介するのがよいか考える。</li> </ul> <p>○調べたこと、分かったことを祭りに来ている人たちに紹介する。 (アンケート調査を行う) (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスモス祭り で仁淀川のことを紹介したり、インタビューしたりする。</li> <li>・地域の人にも仁淀川についてのアンケートをとるようにする。</li> </ul> <p>○アンケート調査の結果をまとめる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査を整理する。 (2)</li> <li>・アンケート結果を分析する。</li> <li>・これからもっと調べたいことについて考える。 (本時)</li> </ul> <p>○仁淀川について調べる② (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに詳しくグループで調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容に合った調べ方を考えさせる。 (インターネットで調べる。図書の本などで調べる。詳しい人に話を聞く。)</li> <li>・グループに分かれて、準備するものや、発表するときの役割分担をさせる。</li> <li>・調べたものをどのように紹介するのか資料の整理をさせるようにする。</li> <li>・来場者に分かりやすい資料を作成する必要性をもたせる。</li> <li>・アンケート結果を表やグラフで表すようにさせる。</li> <li>・それぞれのグループが体験したことや、アンケートの結果から、自分の考えがもてるようにさせる。</li> </ul>	<p>㊦ア) ウ) 《発言・ワークシート》</p> <p>㊦イ) ウ) 《発言・ワークシート》</p> <p>㊦イ) 《グループ活動の様子》</p> <p>㊦ア) 《紹介する様子》</p> <p>㊦イ) ㊦イ) 《作成資料》</p> <p>㊦ア) 《発言・記述内容》</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">仁淀川について 発信しよう (15時間)</p>	<p>課題設定</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p> <p>課題設定</p> <p>まとめ・表現</p>	<p>○学習発表会で仁淀川について発表する計画を立てる (10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習発表会での発表内容や発表の仕方を考え、話し合う。</li> <li>・発表内容を整理し、分担する。</li> <li>・発表の準備や練習をする。</li> <li>・学習発表会で発表する。</li> <li>・仁淀川についての学習発表を繰り返る。</li> </ul> <p>○仁淀川についての学習を繰り返る。(1)</p> <p>○仁淀川のためにできることを考え、活動計画を立てる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちができることを話し合う。</li> <li>・方法を考え、地域に発信する手立てを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループごとに学習発表会で伝えたいことが表現できるようにさせる。(言葉や提示するものを考えさせる。)</li> <li>・これからの仁淀川について自分の考えがもてるようにさせる。</li> <li>・自分ができること、みんなでできることを考えさせ、話し合い、整理していく。</li> </ul>	<p>㊦イ) ㊦イ) 《作成資料》</p> <p>㊦ウ) 《発言・ワークシート》</p>

6. 本時について

(1) 本時の目標

- ・アンケート結果を分析し、これからもっと調べたいことについて自分の考えをもつことができる。

(2) 目標達成に向けて

- ①全体学習の意見交流では、多様な意見を出させるようにする。
- ②グループの話し合いでは、児童同士の考えをもとに今後の課題を見つける。

(3) 本時の展開 (36/55)

学習過程	学習活動	○教師の働きかけ	評価 (方法)
振り返り	1. 前時の振り返りをする。	○振り返りと今日の活動の見通しをもたせるようにする。	
課題把握	2. 本時の学習のめあてを確認する。		
	アンケート結果から、もっと調べてみたいことを決めよう。		
自力解決	3. アンケート結果の予想をする。	○アンケート結果を提示する前に、児童に考えさせるようにする。	
	4. アンケート結果をもとに、分かることを話し合う。 (1)自分で分かったこと、気付いたことを書く。	○地域の人からとったアンケートの結果を提示する。 ○集計したアンケート結果をもとに、分かることを書く自力解決の時間を確保する。	
集団解決 (ペア) (全体)	(2)ペアで発表する。 (3)全体で意見交流をする。 ・仁淀川の生き物の名前を知らない人が多いね。でも、魚の名前はたくさんあったよ。 ・遊びは泳いだり、釣りをしたり、水切りをしたりする人が多いね。 ・オオサンショウウオや仁淀川の石についてはについて知っている人は他と比べると少なかったね。 ・水質を調べられる生物については知らない人もいるね。	○難しい児童には、隣や近くの友達と話してもよいことを伝えておく。 ○自分の考えを発表し、交流する。 ○グラフから分かることだけでなく、アンケート調査した経験からも考えを出させるように支援する。 ○出された意見をもとに、学級全体で予想との違いについても話し合わせる。	
(グループ)	5. これから調べていきたいことについて考える。 ・水生生物の種類を伝えて知ってもらおうようにしていきたいな。 ・石の種類も知らない人が多いから、もっと詳しく調べていきたいな。 ・遊びについても調べてみたらどうかな。 ・自分の知らなかった魚がアンケートで出ていたから、調べてみたいな。 ・オオサンショウウオは知らない人もいたから、もっと広めるにはどうしたらいいか考えていかないといけないね。	○ホワイトボードにグループでこれから調べていきたいことを書かせる。み力チームと魚チームにはアンケートの記述欄も参考に考えるようにさせる。 ○アンケートの結果と分析をもとにこれから自分がどんなことを調べていきたいか、具体的に考えられるように支援する。 ○体験したことも参考に、考えられるようにさせる。 ○ホワイトボードは教室の側面に掲示する。 ○グループで話し合ったことをいくつか紹介させる。	アンケートの結果をもとに、これから調べたいことについて考えることができる。 【ア】《発言・記述内容》
(全体) 価値の共有			
振り返る	6. 本時の学習を振り返る。	○本時の振り返りを書くようにさせる。 ○個々の児童の調べたいことについても残しておくように支援する。	

#### (4)板書計画

10/12 ① アンケート結果から、これからもっと調べてみたいことを決めよう。

**予想**

仁淀川は絶対知っちゃうと思う。

アンケートの時にオオサンショウウオあんまり知られてなかった。

仁淀ブルーも知っている人が多いんじゃないかな。

よコジローは知られてるんじゃないかな。越知のキャラクターだしね。

仁淀川についてのアンケート

項目	知っている	知らない
よコジローを知っている	83	92
仁淀川を知っている	145	0
「仁淀ブルー」を知っている	127	19
仁淀川で遊んだことがある	100	48
仁淀川の生き物を知っている	107	39
オオサンショウウオがいる	55	90
生き物の種類で水質がわかることを知っている	76	72
仁淀川の石の色を知っている	62	84

**気付いたこと**

よコジローは知っている人が多いと思ったけど、あんまり知られてないことが分かったよ。

オオサンショウウオや仁淀川の石について知っている人は他と比べると少なかったね。

仁淀川の生き物の名前を知らない人が多いな。

水質を調べられる生物については詳しく知らない人もいるね。

魚の名前はたくさんあったよ。

#### 7. 授業後の研究協議より

##### 《協議の柱》

- 本時のねらい達成に向けて
- 全体学習の意見交流では、多様な意見を出させるようにする。
  - グループの話し合いでは、児童同士の考えをもとに今後の課題を見つける。

##### 《ワークショップの意見から》 ●課題 →改善策

- グラフから読み取ることができる内容だけのワークシートの記述及び発言となっていた児童が多かった。
  - ワークシートにグラフから分かることと考えを書くようにさせる。
  - 「～だから～です。」「私は〇〇さんと違って、～だと思ふ。」のように理由づけなどをさせる。
  - モデルになる児童の発言（理由付けや考えを付け加えての発言）を評価する。
- グループの話し合いで考えを深め、広げることができなかった。
  - タイムマネジメント意識を高める。最も時間をかけたいところ（話し合い）の時間を確保する。
  - 単元名「仁淀川の魅力発信」なので、「何が魅力なのか」という視点でまとめる。
- これまでに調べたことやアンケートから分かることが、最終的に「仁淀川の魅力発信」にどのようにつながっていくか、これから調べたいことへのつながりの意識が弱かった。
  - 各グループで調べたことや「仁淀川の魅力」との関連性を考えるようにさせる。

##### 《授業者の授業改善プラン》

- ・児童の発言を仁淀川の魅力につなげていく。何のためにこの活動をしているのかという意識を指導者が持つことが大切である。児童の発言から次時への課題を持たせることにもつながる。
- ・話し合い活動で、参考になる（モデルになる）発言の仕方をしっかり見とり、評価することで学級全体に広げる。
- ・予想の時間を短くするなどタイムマネジメントの意識を高めるようにする。

##### 《講師の助言》

##### 県教委小中学校課 小杉指導主事

- ・きたえる・ほめる・つなぐ・のせる・まとめることがポイントである。
- 鍛える（学習リーダーを鍛える、自分で考えることを鍛える）
- ほめる（発言の内容やモデルとなる発言の仕方をほめる）
- つなぐ（子どもと子どもをつなぐ、仁淀川の魅力と児童の発言をつなぐ）
- のせる（教師がしかけたことであるが自分がやったかのように感じさせる）
- まとめる（グループの気づきを先生からまとめへとつなげる）

## 中部教育事務所 瀬戸指導主事

- ・授業は本時の目標（ねらい）に向けて手立てを考えていくものであるが、本時のねらいを達成できたといえるかという視点で授業をふり返ることが大切である。
- ・本時は、仁淀川の魅力を発信するための調べ学習を経て、自分たちが知っていることを他の人が知っているかを知るためのアンケートであった。アンケート結果から、自分たちのグループが調べている内容をどう充実させて仁淀川の魅力発信へつなげるかという視点が弱かった。
- ・児童が目的意識や願いを持って、活動できるようにすることが大切である。
- ・アンケートの結果（数値）から分析へ学びを深め、これまでの経験を引き出すような話し合い活動ができるとうい。

### 《授業者の授業から参観者が学んだこと》

- 思考ツールを活用し、授業に組み入れていく。
- 単元の学習の流れを掲示する。
- ホワイトボードが大きく一人ひとりの考えとまとめが書けるようになっており、見やすい（教室の側面に掲示）。
- 時間がなくても、振り返りまでやる。
- 自分たちでインタビュー活動したことが授業に生かされていた。（サンショウウオを食べた人の話）
- 生の声（アンケート）の大切さを感じた。
- 自分たちが実施したアンケートで自分たちが調べたいテーマを自分たちで調べる主体的な単元展開の提案であった。
- アンケート結果を分かりやすく提示する。
- 子どもが興味を持って取り組める活動を仕組んでいく。

### 《今後の指導に生かしていく内容についての全体確認》 研究主任より

- ◎総合的な学習の時間・生活科の時間は、目的意識を持った学習活動を展開していくようにする。
- ◎どの教科・領域でも 理由づけをして発表するよう習慣づける。